

おしえて ボウサイマン

地震について 編

2号



豊橋市作成	愛知県南海トラフ地震被害予測調査結果（豊橋市抜粋）	
被害の想定	《愛知県》令和8年6月2日公表	
建物被害および人的被害の想定結果	《豊橋市》令和8年8月7日追記	
人的被害【死者数】		
	過去地震最大モデル	理論上最大モデル
建物倒壊	約300人	約2,400人
浸水津波	約50人	約700人
がけ崩れ等	—	—
火災	約10人	約400人
ブロック壁・自動販売機 の転倒・屋外落下物	—	—

令和8年6月に愛知県が公表した被害予測を基に、豊橋市が抜粋しています



Q 南海トラフ地震とは、どんなものですか？



A 豊橋市では被害予測調査を実施し、令和8年に公表された内容によると、**最大でマグニチュード9.0、震度7**。市内の建物のうち約50,000棟に被害が出ると算出されました。人的被害も上記の予測となります。
豊橋のほとんどの地域で最大震度となる予測です。

Q 豊橋にも津波は来ますか？



A 実際に過去の大地震でも豊橋は津波被害を受けていますし、南海トラフ地震予測では来るとされています。**外海地域は最短で5分、最大18.5m。三河湾側は最短で76分、最大約2.9m**で来ると想定されています。しかし地震は多様性があり予測困難でありますので想定を超える事も考えられます。

Q どの校区が危険ですか？



A どこも危険はあります。それぞれの地域に合った危険を知ることが大切です。例えば**揺れの大きい地域、津波の届く地域、液状化の起こる地域、地震後の火災が危険な密集地域、急傾斜地**による土砂崩れなど。また市街地でも看板やブロック壁など落下、転倒する危険もあります。

Q 地震に備えておくのに、最優先は何ですか？



A 非常持ち出し袋の準備なども大切な準備ですが、『**一番は命を守る事**』です。上記グラフの人的被害のとおり、地震が起きた際の死亡原因は建物倒壊、家具転倒による圧死が最多となります。**住宅の耐震化や、家具の固定**など、命を守る対策を最優先にお願いします。